

呉市胃がん検診(胃内視鏡検査)を受診される方へ

胃内視鏡検査は、口から直径1cm弱の管状のカメラを挿入して、胃の内部を観察し、胃がんや他の病変(潰瘍・ポリープ・胃炎等)を診断する検査です。

検診を受ける方へのお願い

右の項目に該当する方は、内視鏡検査を受けることができない、または、お勧めできませんので、ご相談ください。

- 胃や腸の病気で治療中の方
- 心臓病や人工透析などで水分制限を受けている方
- 慢性呼吸器疾患で酸素吸入をしている方
- 腸閉塞や腸捻転の経験がある方や人工肛門の方
- 抗血栓薬(抗血小板薬・抗凝固薬)服用中の方
- 自力で立てない方や診察台の手すりをつかむ事が困難な方
- 高齢(80歳以上)の方
- 便秘が3日以上続いている方
- 検査当日の体調がすぐれない方

検査前の注意事項

- 検査前日の夕食は午後9時までに、軽い食事をおとりください。
(脂肪の多いものや消化の悪いものはなるべく控えましょう)
- 検査が午後の場合は、検査前の準備(注意事項)が異なりますので、医療機関にご確認ください。
- 検査当日は起床から検査終了後まで食事をしないでください。
(喫煙やガム・飴なども胃酸分泌を促進し、検査の妨げになるのでお控えください)
- 水についてのみ、検査の1時間前までは飲んでも構いません。
- 前日の飲酒は避けてください。
- 十分な睡眠を心がけてください。
- 血圧等の検査当日内服する薬は主治医にご相談の上、最小限の水で服用してください。
- 検査当日の服装は締めつける衣類は避け、楽な服装でお越しください。アクセサリーは外してください。
- 薬剤に対するアレルギーのある方は申し出てください。
- お薬手帳をご持参ください。



★検診では、診断や治療はできません。また、がんを100%発見出来るものではありません。